

みやこんじょ



No.43

発行日 2016年4月30日
 発行 独立行政法人国立病院機構
 都城医療センター
 宮崎県都城市祝吉町5033番地1
 TEL 0986-23-4111

基本
理念

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします

新生

院長 井 口 厚 司

「新生」、まさに読んで字のごとく、「新しく生まれ出ること、あるいは生まれ変わった気持ちで人生に再出発すること(広辞苑)」という意味です。健康面では大変不謹慎ではありますが、「しんせい」と言うと我々の世代は戦後すぐに発売された紙巻きたばこを思い出してしまいます。ゴールデンバットと並んで庶民の代表的な煙草であったように思います。「しんせい」、「いこい」、「エコー」など懐かしい銘柄ですが、小学生の時代であっても小遣い稼ぎのために使い走った息子にはしっかり記憶に残っています。なお、「しんせい」は来日したジェームズ・ボンドも喫っていたそうですがご存知ですか？

さて、これからは「新生」の話です。都城医療センターは今年度、まさに「新生」となります。2008年の新病棟建て替えから始まった病院新築工事が愈々この7月をもって全て終了し、まさに「新生都城医療センター」として始動します。食堂、売店などのサービス棟、剖検室、そして広い駐車場の完成により、患者さんをはじめ多くの方々これまで長期にわたってご不便をおかけしましたが、ようやく良好な医療環境が整備されることになるわけです。また診療面での「新生」ですが、外科の診療体制が新しくなります。これまで外科部長を務めてきた後藤部長が統括診療部長に就任するために、新たに沖野外科部長、松本外科医長をはじめ4名の新体制で外科診療にあたります。消化器病センターも駒田センター長以下2名に増え、宮崎大学の応援医師および増員予定の内視鏡技師も加わり、消化器疾患は外科と内科が協働で診療にあたるセンター方式が一層充実いたします。より安全で、かつ迅速かつ高度な診療が可能になると思っています。それ以外にも、麻酔科、小児科にもそれぞれ医師が1名増員となります。宮崎大学からの臨床研修医も循環器内科、産

婦人科、小児科、外科に13名を受け入れます。それでも医師の数ほどの診療科も病院が担う機能からみると限界に近い状況で頑張ってくれています。他の職種の皆様もご理解とご協力、よろしく願います。



昨年12月から活動を開始した総合品質管理(TQM)推進室は、昨年度終了までの短期間に当院が当面目標とすべき14の指標を立ててくれました。すべて質の高い医療を提供するために重要なものです。これからTQM推進室を中心にして、一昨年病院機能評価を初めて受審した時のように院内の各部門が協力しながら指標に向かって努力していかなければなりません。病院幹部も一体となって支援していきませんが、是非職員の皆様もご協力をお願いいたします。

再び煙草の話題です。敷地内禁煙を導入する病院が全国で増えてきました。患者さんの健康を管理する医療機関としては当然の取り組みですが、職員の健康のためにも禁煙を勧め、煙草を喫えない環境を整備する必要があります。敷地内禁煙を実施すると患者さんが隠れて喫煙するので防火対策上問題であるというスモーカーらしい意見はよく耳にしますが、そのような言い訳よりも一人でも煙草をやめるように患者さんや職員を指導しましょう。子供の頃に家庭での受動喫煙がきっかけで長期間の喫煙経験者となった者の提案です。当院も間もなく敷地内のどこにもたばこの煙がない「新生都城医療センター」になる予定です。





就任挨拶



氏名：後藤 又朗

勤務部署：統括診療部長

着任にあたっての抱負：平成16年に熊本から都城に戻ってから多くの患者様を診させてもらい、また多くの医療関係者の方々から支えられて手術を中心とした治療に専念し、外科一筋に頑張ってきました。思い起こせば外科医として修業を始めてから、手術を中心としたがん治療や肝臓移植に専念し、また不幸にして切除不能で発見されたがんを化学療法にてどうか助けられないか日々苦悩してきた31年間でした。その甲斐あってか、また化学療法の進歩のおかげもあって、がん性腹膜炎を呈する胃がんの患者様や切除不能食道がん・直腸癌の患者様の中から根治切除へ持ち込めて、生存されている方を得られたことが大きな進歩であったと考えております。

さて、4月からは現場から一步下って、各診療部門のマネジメントを担当する役を仰せ付けられました。医療の質を上げることと共に病院のさらなる活性化や、きめ細やかな患者様へのケアを達成することなどに尽力することが大切な役目と考えております。

また、がん診療連携拠点病院として、地域住民の健康管理に関する啓発と医療管理を医師会の先生方とともに進めることで、かかりつけ医の重要性をさらに増すことになり、地域医療として連携を進めることに携わることも大切な役目と考えております。

このように今までとは異なる形で診療に携わることとなりましたので、不慣れなために至らぬ点が多々あるかと思いますが、遠慮なくご指摘・ご指導のほどお願い申し上げます。



氏名：平木 嘉幸

勤務部署：放射線科部長

着任にあたっての抱負：本年4月から放射線科部長を拝命いたしました。大変名誉なことであるとともに、身の引き締まる思いです。

福岡県生まれ、鹿大卒業で鹿大で平成5年以前はIVRを、平成6年からは放射線治療を専門として、高精度放射線治療、温熱などの放射線増感の診療、研究、教育に携わり、平成21年からは放射線治療部門長を務めて参りました。

今後、地域の患者さま並びに諸先生方のためになる放射線科を目指して行く所存ですのでよろしくお願ひ申し上げます。



氏名：沖野 哲也

勤務部署：外科部長

着任にあたっての抱負：平成14年から2年間当院に勤務後、約12年ぶりに再び勤務することとなりました。

懐かしい職員の方々と再会でできて嬉しく思います。

外科分野の治療法は手術・化学療法など大きく変化・進歩してきました。

微力ながら全力で変化に対応し、進歩につなげたいと考えています。

外科を通して社会・地域に貢献できれば幸いです。



氏名：松本 克孝

勤務部署：外科医長

趣味・特技：ムスメとあそぶ、ムスメにあそばれる

自己PR：外傷関連のインストラクター（JPTEC、JATEC、ITLS）をしています。興味のある方、お声かけて下さい。

着任にあたっての抱負：8年ぶりです。頑張ります。



氏名：古田 賢

勤務部署：産婦人科医師

趣味・特技：ゴルフ、ワインなど

自己PR：楽しく仕事するのがモットーです。よろしくお願ひします。

着任にあたっての抱負：開業医の先生方やスタッフの皆さんのご協力を頂きながら、都城の周産期・婦人科医療に貢献できるよう努めてまいります。



氏名：川平 秀一郎

勤務部署：泌尿器科医師

趣味・特技：バドミントン、ゴルフ

着任にあたっての抱負：都城の為に頑張ります。




氏名：藤原 利成

勤務部署：消化器病センター医師


趣味・特技：フォークギター、マンガ鑑賞

自己PR：文学部出身です。


着任にあたっての抱負：旧社会保険中央総合病院の炎症性腸疾患センターで勉強してきてから同疾患を中心に、検診内視鏡から止血内視鏡まで行ない、拡大内視鏡による消化管癌の診断学を中心に胃ESDは部位限定で修練している過程です。よろしくお願ひします。




氏名：山下 貴大
 勤務部署：小児科医師
 趣味・特技：サッカー、フットサル
 自己PR：小学校からサッカーをしていたので、体力はあると思います。
 着任にあたっての抱負：小児とその家族が幸せになれるようにしっかり頑張りますのでよろしくお願致します。




氏名：高島 悟
 勤務部署：小児科医師
 趣味・特技：映画、ゴルフ、スポーツ観戦
 自己PR：熊本出身。大学は福岡大学を卒業しております。
 着任にあたっての抱負：入局して初年度です。医師としては一番若いと思いますが、体力では負けないように頑張ります。




氏名：高城 克暢
 勤務部署：外科医師
 趣味・特技：釣り
 自己PR：前任の熊本大学消化器外科では主に肝胆脾疾患の診療に従事しました。これからは腹腔鏡手術に力を入れます。
 着任にあたっての抱負：外科医としてまだ未熟ですが少しでもお役にたてるよう頑張ります。




氏名：中尾 陽佑
 勤務部署：外科医師
 趣味・特技：野球
 自己PR：何事にも一生懸命取り組みます。
 着任にあたっての抱負：何でも遠慮なく言ってください。1年間宜しくお願いします。




氏名：日高 康太郎
 勤務部署：麻酔科医師
 趣味・特技：旅行、カラオケ
 自己PR：休暇は九州内の温泉旅館をめぐってました。子供が生まれてから休止中です。一緒に行けるのが楽しみです。
 着任にあたっての抱負：微力ながら都府の医療の一助となれば、と思います。よろしくお願致します。




氏名：谷口 由美子
 勤務部署：副看護部長
 趣味・特技：映画鑑賞、ガーデニング
 自己PR：明るく、元気に、前向きに。そして大きな声はちょっと小さめにしようと思っています。
 着任にあたっての抱負：患者様に寄り添える看護を目指して、一日も早く役割行動がとれるように頑張ります。




氏名：有本 祐子
 勤務部署：3病棟看護部長
 趣味・特技：何があってもわりと冷静なふりに対応可能です。菓子作り、猫と遊ぶこと。
 自己PR：「人に安心感を与える」「いやし系」
 着任にあたっての抱負：鹿児島医療センターより異動でまいりました。今年度、電子カルテの更新、診療報酬改定による退院調整加算の獲得などの課題があります。今まで経験したことを活かしてお役に立てるよう努めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願致します。




氏名：坂本 けい子
 勤務部署：4病棟看護部長
 趣味・特技：温泉めぐり・ドライブ
 自己PR：愛猫に癒される日々を送っています。
 着任にあたっての抱負：笑顔をやさず、人の思いに寄り添える看護の提供に努めていきます。




氏名：野村 尚史
 勤務部署：放射線技師長
 趣味・特技：ウォーク&ジョグ
 自己PR：アウトドアスポーツが大好きです。でも色が黒くなるのが悩みの種です。
 着任にあたっての抱負：熊本南病院から配置換で18年ぶりに帰ってきました。新しくなった病院にビックリしています。残り3年一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。




氏名：藤内 律子
 勤務部署：理学療法士長
 趣味・特技：テニス、山歩き等
 自己PR：健康だけが取り得です。
 着任にあたっての抱負：患者様に信頼され、更に充実したリハビリを提供できるようにしていきたいと思っています。




氏名：村尾 浩一
 勤務部署：企画課長
 着任にあたっての抱負：建物整備も最終局面に入りました。今年度は経営状況の立て直しを念頭に努力したいと思っています。




氏名：佐伯 文啓
 勤務部署：管理課長
 趣味・特技：野球、バスケットボール観戦
 自己PR：久しぶりの単身赴任です。時間ができたら都城の歴史を学んでみたいと思います。
 着任にあたっての抱負：明るく元気に仕事に取り組んで参ります。よろしくお願致します。



氏名：福地 弘幸
 勤務部署：庶務班長
 趣味・特技：音楽鑑賞
 自己PR：体力の低下を痛感していますので、少しスポーツでもと考えています。
 着任にあたっての抱負：7年ぶりの当院勤務です。建物同様、新たな気持ちで業務を全うしていきたいと思っています。



氏名：野口 弘一郎
 勤務部署：専門職
 趣味・特技：野球（最近は観戦が多くなっています。）
 自己PR：都城は初めてとなります。時間があれば、色々な場所に足を運んでみたいです。
 着任にあたっての抱負：皆様にご迷惑がかからないよう、一日も早く仕事に慣れ、円滑に業務ができるよう一生懸命頑張ります。



氏名：大森 隆弘
 勤務部署：入院係長
 趣味・特技：習字
 自己PR：何事にも一生懸命取り組みます。
 着任にあたっての抱負：星塚敬愛園から転入してきました。病院での勤務は今回がはじめてになります。不慣れなことばかりですが一生懸命頑張ります。



スキルラボセンター研修会

当院では27年度から、スキルラボセンター研修会を開始しました。研修会では、シミュレータを活用して、担当医師より極めて実践的な講義、実技指導を行っています。その目的は関係部署の看護師、コメディカルのスキルアップを行い、臨床に還元するためです。

27年の11月に新外来管理棟が完成し、スキルラボセンターも広く活用しやすい環境が整いました。センターでは16種類のシミュレータを一元管理しており、必要な時、いつでも使用できる状態にしています。27年度は、全19項目の研修(表1)を行いました。

27年度 スキルラボセンター研修

表1

6月	上部消化管内視鏡トレーニング	10月	人工呼吸器の適応と操作方法(各論)
	新生児蘇生法講習会		NICU入院時処置シミュレーション
7月	胃食道静脈瘤破裂・未破裂に対する救急対応	11月	新生児フィジカルアセスメントと呼吸ケア
	ストーマケア		新生児蘇生法講習会
8月	縫合トレーニング	12月	下部消化管内視鏡トレーニング
	気管内挿管トレーニング		ECGモニタリング研修
	CVC穿刺トレーニング	1月	人工呼吸器の適応と操作方法(NPPV)
9月	ストーマケア	2月	気管支鏡トレーニング
	CHDF管理	3月	ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)

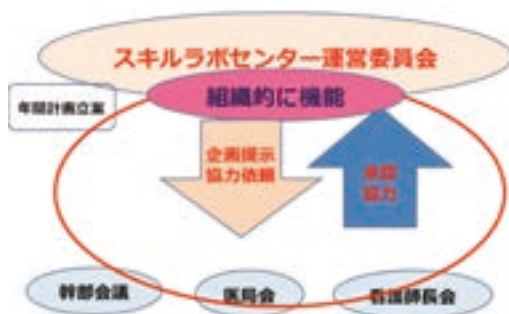


図1

6項目は従来から行っていたものをスキルラボ研修会という形で取り込み残り13項目は、27年度から新たに企画しました。新生児救急蘇生、ストーマケア、新生児フィジカルアセスメントは、院外看護師、助産師を対象にしています。研修会参加者の意見からは「実践的で即活かせる」「具体的方法が理解しやすい」等の意見が多数を占め、臨床現場ですぐに活用できる医療技術の習得に役立ったのではないかと考えています。現代の医療現場で患者へ安全、安楽を提供するためには、スキルの向上は必須で

あると考えられます。26年度末にスキルラボセンター運営委員会を立ち上げ(図1)組織的に取り組んだことで、講師の医師やMEに、病院全体の医療の質を向上させるために講義、演習を快く引き受けていただき、チーム医療や医療の質向上に繋がる研修の継続ができました。

今後は院内全職員のみならず、院外医療従事者の参加も視野に入れ、職員がそれぞれの目的で自由に参加でき、知識や技術の習得だけでなく、日頃から感じている疑問点などを活発に討議できる研修の場を提供していきたいと思います。(教育・研修部 和氣美紀)



上部消化管内視鏡
トレーニング



CHDF管理



気管支鏡トレーニング

第67回卒業式 平成28年3月2日(水)



花々のつぼみもほころび、春の息吹が感じられる良き日に、私たち41名は、卒業を迎えることができました。3年前の春の入学式がついこの前のこのように思い出されます。

技術演習では、クラスのみんなが確かな技術を獲得できるよう空いた時間を見つけては日々練習を積み重ねました。

戴帽式では、ナースキャップをいただき自分

たちが着実に看護師になるという夢へ一歩ずつ近づいていることを実感し、身が引き締まりました。

学校行事では、学年を超えて学校全体の絆が強まったように感じました。

実習においては言葉では言い尽くせないほど多くのことを学ばせていただきました。患者さんと日々関わる中で、日々変化する患者さんの状態、思いを尊重した関わりが大切だということに気づくことができました。様々な患者さんとの出会いを通して、性格や考え方の異なる患者さんとしっかりと向き合い、患者さんの個性に合わせた看護を実践するというを大切にしていきたいと思いました。

一人では、卒業証書を手にすることはできなかったと思います。多くの支えと仲間がいたからこそ今の自分があるのだと思います。ご支援いただいた病院関係者の皆様、先生方、在校生の皆さん、そして家族に深く感謝いたします。

この3年間の学びを私たちの土台として、そこに多くのことを積み重ねていけるよう日々精進していくことを再度誓います。
(卒業生代表 中釜 万里奈)

第70回入学式 平成28年4月5日(火)

花々の香りに包まれ、春風が心地よい今日よき日に、私たち70回生41名は、独立行政法人国立病院機構都城医療センター附属看護学校に入学を許可していただきました。今、新しい仲間と共に学ぶことへの期待と不安で胸がいっぱいです。

私は中学生のとき看護師という職業に興味を持ちました。高校時代には看護体験の機会があり、忙しく大変な中でも患者さんと共に笑顔で会話している看護の方々を見てその職業に強く憧れを抱きました。

治療だけでなく、患者さん一人一人に寄り添い、心の支えになれるような看護師を目指します。

また、常に自分自身が成長するための努力を惜しまず、患者さんをはじめ、周囲の人々から信頼される看護師になりたいと思います。

そのためにも、この伝統ある学校で仲間と切磋琢磨しながら互いに高めあるとともに、高い知識や技術はもちろん、豊かな人間性も培っていけるよう、精一杯努力することを誓います。

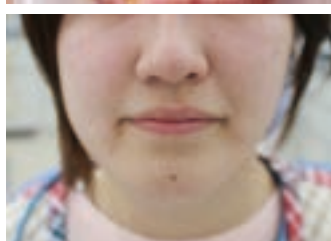
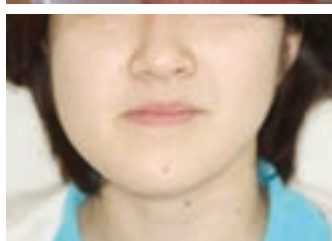
(新入生代表 栗原理穂)



歯科口腔外科の紹介

国立病院機構都城医療センターの歯科口腔外科は常勤歯科医師3名、非常勤歯科医師3名の体制で日常診療を行っております。

歯科口腔外科としましては、口腔癌の治療を中心に行っております。進行癌に対しては放射線科と共同で腫瘍に対する栄養血管にカテーテルを挿入し、抗がん剤を局所に投与する超選択的動注療法を放射線治療と並行して行っ



おります。左記の患者さんの様に、舌全体を占める舌

がんの患者さんも、超選択的動注療法と放射線治療、それと舌亜全摘術、遊離の腹直筋皮弁による再建術で、社会復帰できました。

また、歯周病の治療については、高度に進行した歯周病に対して、歯周組織再生術を行っております。また、最近増加傾向にある、インプラント周囲炎に対しても、欠損したインプラント周囲の骨の再生術を行っております。

また、保存不可能な歯のインプラントによる補綴治療も行っております。

矯正治療では、特殊なワイヤーを使い、通常の方法では手術となるような顎の偏位しているような症例も手術しないで、治療を行っております。

また、周術期口腔機能管理では、全身麻酔下での手術、放射線治療、化学療法を行う当院癌患者に対して、

- (1) 術後の誤嚥性肺炎のリスク軽減
- (2) 歯牙の破折や脱落などの気管内挿管時のリスク軽減
- (3) 術後の経口摂取再開の支援
- (4) 口腔咽頭、食道手術における術後合併症のリスク軽減
- (5) がん患者の QOL 向上
- (6) がん患者治療成績向上を期待して、周術期口腔機能管理を行っております。平成 26 年度は 366 名の当院がん患者に対して実施しました。

また、当院では歯科治療が困難な方に対して、全身麻酔下、静脈鎮静下での歯科治療が可能です。障害者歯科学会の指導医の森主宜延先生が定期的に来られて、障害者の方の歯科治療を行っております。

また、口腔顎顔面領域の疼痛、知覚麻痺、顔面神経麻痺に対する治療も元鹿児島大学歯学部麻酔科の横山幸三先生により行っております。



歯科口腔外科部長
田畑 雅士

連携医療機関のご紹介

いわよし耳鼻咽喉科クリニック



院長
永野 由起 先生



所在地	宮崎県都城市千町5273-1
TEL・FAX	TEL・Fax 0986-36-5555・0986-36-5171
HP	http://www.iwayosi-jibika.jp (WEBから再診予約あり) (携帯電話・パソコンで予約状況や予約確認を行えます。)
診療科目	耳鼻咽喉科
診療時間	平日9:00～12:00、午後14:00～17:30 金曜日は、18:00まで 木・土曜日は、9:00～12:30まで
休診日	日曜・祝日休診(その他、臨時休診日)
備考	日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医、補聴器適合判定医 補聴器相談医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医

私も以前、都城医療センターに勤務させていただいており、在職中は各科の先生方に大変お世話になりました。平成26年9月に故郷である都城市に念願の当クリニックを開業し、地域医療に貢献できるよう奮闘しております。

待ち時間を少しでも短縮するために再診ウェブ予約システムを導入していますが、PCやスマートフォンをお持ちの方ばかりではないので、口頭で予約を受け付けて紙の診察券に次回の日時を書き込めるようにもしています。その診察券にもプリントしてあるウサギのマークがクリニックのシンボルです。耳の大きなウサギのマークで「耳のお医者さん」と認知していただき、「ウサギのクリニック」として地域の皆様に親しみを持って欲しいという思いで決めました。

当院には、中耳炎・鼻疾患・難聴など症状も年齢



層も幅広い方が来院されますが、中でも多いのがお子様の中耳炎です。乳幼児のほとんどが中耳炎に罹患し、発症率も非



常に高いので、子供を持つ親御さんのニーズに答え、頼りにされるようなクリニックを目指しています。

耳鼻咽喉科は上気道閉塞をきたす疾患もあり、窒息の危険性が皆無ではないため迅速な対応が必要となるのですが、耳鼻咽喉科 外山勝博先生を始め、都城医療センター各科の先生方にはいつも素早く対応して頂き、大変感謝しております。

当院を受診された頸部(リンパ節)が腫れる患者さんを紹介した際、呼吸器内科 後藤先生より肺癌と診断され治療して頂き地域医療連携の大切さを改めて痛感した事もありました。

当院も『病む人に寄り添い、良質な医療を提供し、地域に貢献する』を念頭に、地域医療連携にお役に立てるよう全力を尽くしますので、何卒宜しくお願い致します。

外来診療科別週間担当医当番表 独立行政法人 国立病院機構 都城医療センター

【全診療科 初診予約制】 受付時間 8:30 ~ 11:00

【平成 28 年 4 月 7 日】

Table with columns for medical department (e.g., Internal Medicine, Surgery, Pediatrics), day of the week (Monday-Friday), and attending physician names. Includes various sub-specialties like respiratory, digestive, and dental.

【その他の特殊診療】

Table for special treatments including Endoscopy Center, Radiology, and Bone Density Measurement, with columns for day and physician.

※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。また各診療科の診察日以外については、急患のみ対応となります。
※2 医療機関の方へ：血液内科の初診については、事前に診療FAX連絡票と共に、最新の血液データを送ってください。
※3 皮膚科の診察時間は、火曜、木曜、金曜の9時30分～13時となっております。
※4 がんサポート外来、緩和ケア外来については、事前に関がん相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。
※5 セカンドオピニオンの受診についても、予約制となっております。がん相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893



独立行政法人 国立病院機構

都城医療センター (地域がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1
TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864
E-mail/syomu-2@hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp
編集発行：広報委員会